

～宇宙祭1カ月前号～

Newspace

郡山東高校新聞速報版86号

編集・発行
郡山東高等学校新聞部
発行人 古川美羽
編集人 浦山 さくら
〒963-8832 福島県
郡山市山根町13-45
電話 024-932-0898

宇宙祭1カ月後に控える

宇宙祭への準備 着々と進む

青月、2日に「宇宙祭」が開催される。今回の宇宙祭のテーマは「巻き起こせ『宇宙革命』」だ。今回の宇宙祭は新型コロナウイルスの影響により、一般公開が中止になるなどさまざまな制限があるが、宇宙祭実行委員会を中心に生徒たちは宇宙祭を盛り上げようと企画を考えている。今号では「宇宙祭」の魅力を伝えるべく、大まかな企画について紹介する。

東高では来月1日から2日にかけて「宇宙祭」が開催される。東高では宇宙祭は3年に一度行われる。

今回の宇宙祭のテーマは「巻き起こせ『宇宙革命』」に決定した。このテーマは、2、3年生の全クラスから案を募り、その中の2つのクラス案を合わせた。このテーマには「新型コロナウイルス流行の中でも、それを覆すほどの全校生徒の明るさ

で宇宙祭を盛り上げよう」という思いが込められている。



↑前回の宇宙祭で行われたクラス企画のPR

いる。また、今回の宇宙祭のポスターは宇宙祭実行委員会による多数決で水野宙さん(3年)の作品が採用され、BGMはMrs. GREENAPPLEの「青と夏」に決まった。例年の宇宙祭は一般公開され多くの人が高高を訪れる。しかし、今年は新型コロナウイルスの影響で一般公開は中止になり、企画にも制限がかけられる。そのため今月30日の開祭式は全校生が大体育館、小体育館に分かれてリモートで行うか、または外で行うかは検討中である。前回の宇



→第8回宇宙祭の開催を堂々と告げるポスター

宇宙祭成功を 目指して

来月1日に宇宙祭が行われることを受け、東高新聞部は宇宙祭実行委員長である石井乃菜さん(3年)に取材を行った。実行委員会では主に行事全体の企画や運営と、全体アートの作成を中心に行っており、昼休みや放課後の時間を利用して活動を進めている。実行委員は各クラス4人ずつおり、計80人での活動となった。80人の中で係分担任を行い、それぞれが担当の役割に力を入れている。今年は新型コロナウイルスの影響で、今年度は例年通り進行することができなくなる部分もあつたが、生徒会や実行委員会による多くの意見の提案により解決したという。今年には特に、開祭セレモニーのファッションコンテストや後夜祭に力点を置いている。石井さんは「3年に一度の宇宙祭なので実行委員会が中心となり全校生徒で盛り上がることを目指している。今年も笑顔で意気込みを語った。最後に実行委員長になっ



↑実行委員長の石井乃菜さん

宇宙祭で美術を感じる

来月1日から開催される宇宙祭への意気込みを、郡山東高新聞部が本校美術部に取材を行った。宇宙祭での主な展示であるゲート作りについて部長の深谷美悠莉さん(2年)は「初めての共同作業のため不安が大きい」と緊張した表情で話した。作品について部員たちは「見た人が宇宙を感じられるような作品にしたい」と話した。

宇宙祭では美術室を美術館のように装飾をして個人で制作した作品を展示する予定だ。大がかりな作業のため力仕事が多くなり体力が必要になるため大変だ。深谷さんは「ゲートも個人作品もぜひ見に来て欲しい。そして身近なところに美術を感じて欲しい」と語った。(荒川)

後夜祭 期待高まる

東高では宇宙祭最終日である来月2日に後夜祭が行われる予定だ。過去の東高の後夜祭では、男装女装コンテストやクラウンコンテストやクラウンコンテストが行われていた。平成30年度に開催された際には、大勢の東生が集まる中打ち上げられたサライスの火花が大いに盛り上がりを見せた。今年の後夜祭は例年通りのイベントを実施する予定だが、宇宙祭実行委員会によりさまざまな企画が計画されている。企画の1つであるファッションショーは、ファッションコンテストの上位者が出場する。各クラスでファッションコンテストに参加する代表生徒を募り、開祭セレモニーに発表を行い、上位者を決める。その結果上位に選ばれたクラスが会場に登場する。また、通常とは異なる形で後夜祭でも有志発表が行われる。文化

新聞部員募集

新しいことを始めたい
文・写真に興味がある
青春したい人
初心者も体育会系も!
男女問わず大歓迎

私たちと一緒に
剣ではなくペンで
戦いませんか?

さあ君も運動部系文化部へ
▼マネジメントハウスまで
遊びに来てください!



←前回の後夜祭の火花の様子

コロナに負けずに

普段から東高はアルコール消毒や、手洗いが徹底の実施、教室の換気の徹底など新型コロナウイルス対策を行っている。また授業の際でも向かい合わせでの話し合いを避けようという指示がされている。今年度の文化祭は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生徒会・宇宙祭実行委員の方針により音楽祭や文化祭の一般公開が中止となった。保護者や地域の方々への参加

東高手記

何を始めるにしても、なかなか熱中することができなかった。私は幼稚園の頃から、ピアノや習字など数々の習い事をしてきた。中学校ではそれに関連する部活動や、体力づくりのため特設の運動部に所属したが、どれも真剣に取り組まず、中途半端に過ごしてきた。両親に半ば無理やりさせられていたことも理由の一つだったが、精いっぱい努力ができていない私の性格が原因だった。当時の私は、習い事や部活動を面倒としか思うことができず、それから逃げ出すことばかり考えていた。そして、中学校2年生の頃には、今までできてきた習い事や部活動のほとんどを辞めていた。辛い練習や指導に直面しないことが、一番幸せだと思っていた。しかしその考えも、中学校3年生の秋ごろにはなくなった。高校受験の時期になり、面接の練習が始まった。周囲のみんなは、面接練習用の冊子に、特技や大会等の成績を書いていた。しかし私は何も書くことができなかった。今までできてきた習い事も部活動もすべて辞めてしまったからだ。それからは自信をなくして、学校を休みがちになってしまった。しかし、部屋に立て掛けてあったギターを見て「まだ辞めていないギターが、本当にやりたかったことかもしれない。もう一度頑張ってみよう」と思えた。今までは、努力は何のためにあるのか疑問だった。しかし、努力することで自分が好きになれるのだと分かった。精いっぱい頑張ること、少しずつ自信が芽生えてくる。高校入学後もギターは続けているし、入部した部活動はとも大変だがやりがいがある。今は宇宙祭に向けて両方を頑張っている。今回は一度も逃げ出さずにやり終えたいと思う。(あお)

